

..... CONTENTS

- 『経営品質賞受賞組織訪問（経営品質ファシリテーター養成講座）』開催
- 『拡大幹事会・第14回トップの集い』開催
- 経営品質賞受賞企業『ねぎしフードサービス』訪問
- 『アセスメントコース A1 基礎編』開催／令和3年度戦略会議開催

経営品質賞受賞組織訪問（経営品質ファシリテーター養成講座）

1月19日に新日本ビルサービス株式会社を訪問しました。2019年度の埼玉県経営品質賞知事賞を受賞したばかりであり、経営品質ファシリテーター養成講座のテキストに「知事賞の申請書」を使わせていただいています。カテゴリ1から順に取り組みを題材に講座を進めてきていますので、実際に会社を訪問して直接耳目に触れることができるのはとても有意義であり有り難いことです。特にコロナ禍での訪問を受け入れていただけたことに感謝の意を表します。

11時に集合して開始ミーティングの後、2班に分かれて社内案内をしていただきました。「足利流5S」の取り組みの実践ぶりを詳らかに見せていただきました。

12時からは社員食堂「ラ・サンテ」で手作りの昼食をご馳走になりました。温かみに溢れ、まさに社員の憩いの場となっています。

午後からは、関根一成社長より「ビジョン30への挑戦～SQA知事賞6年間の挑戦で変わったこと、変わらないこと～」と題してお話をいただきました。顧客価値提供



プロセスを高度化してきた経緯がよくわかりました。「戦略があったのではなく、顧客の要望に応じてきたから」が印象的でした。

最後に、講師の寺沢俊哉氏によるトークセッションで、「足利流5S」の深掘りを行い、大満足の内に終了となりました。

(運営委員長 高橋 清)



「拡大幹事会・第14回トップの集い」開催(11 / 11)

11月11日(水)に川越プリンスホテルにて「2020年度拡大幹事会」、「第14回トップの集い」が開催されました。拡大幹事会では2020年度の活動目標に対する進捗状況報告が行われ、異議なく承認されました。

引き続き行われたトップの集い(経営懇話会)では、経営トップ同士の話し合いの機会を増やそうという目的に、2019年度の「ワールドカフェ」による話し合いから、2020年度は、参加者にとって重要なテーマや課題について参加者自らが議題を上げ主体的に話し合う「オープンスペース・テクノロジー(OST)」の手法を用いた話し合いが行われました。全体テーマを「IMAGINE SQA 2030 2030年の埼玉県経営品質協議会を想像する」として、3つのセッションテーマ「1. 賞制度：埼玉県経営品質賞の賞制度について考える、2. 人材：経営革新を担う人材育成について考える、3. 組織：埼玉県経営品質協議会の会員について考える」に、参加者自身が対話を希望するセッションテーマに分かれ、意見の共有・対話を行いました。それぞれのセッションでは終始活発な意見交換が行われました。その後、話し合われた内容はセッションテーマ毎に壁新聞にまとめ、最後に参加者全員で全体の対話の内容を共有しました。

参加者の皆さんには和やかな話し合いの中にも本音で自身の意見を発信していただき、活発な討論ができたことは大変良かったと思っています。



特に参加者皆さんの共通意見として「経営品質は難しい」という言葉が多かったようですが、鳩山CCの加藤社長の「スタッフへは“経営品質”と言わずに分かり易い言葉に置き換えて説明すると理解してもらえる」という意見は、他の経営トップの皆さんも納得されていたことが印象的でした。

2020年度は「IMAGINE」という全体テーマの下で対話を行いました。今後もこのような場を設け討論を通じてあるべき・ありたい姿を創造できるようにしていきたいと思っています。今後も皆さんのご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

(株式会社タカヤマ 井上 健次)

(新日本ビルサービス株式会社 浅見 一廣)

(武州ガス株式会社 大久保 忠夫)



経営品質賞受賞企業「ねぎしフードサービス」訪問 (10 / 26)

当日はねぎし新宿エルタワー店に集合し、牛タン3種盛セットを美味しくいただいた後、西新宿にあるサポートオフィス(ご本社)を訪問しました。以下根岸社長のお話概要です。

当社の経営目的は、①「働く仲間の幸せ」、②日本のとろろ文化と日本の農業に貢献する、③おいしい味づくりで楽しい街づくり「この街にねぎしがあつてよかった」と思っていただけの質の高い店づくりです。

それぞれのお店では店長中心にこの目的を我が事として働きがいをもって働いています。仕事はそれぞれのお店に任されているため責任は重いのですがやりがいは圧倒的に違います。そのために一人ひとりがプランから参加できるようにしたり、ところどころに成長が実感できる仕組み(クレンリネスコンテスト等)があります。通常が多店舗展開飲食店の店長は孤独です。ところが当社では首都圏に店舗距離の近い「ドミナント出店」をしており、エリア店長ミーティングを頻繁に開催しこれこそが相互に知恵を絞り出す重要な取り組みとなっています。これらの仕組みや人財教育PDCAを回しながら「人の成長」→「会社の成長」を目指しています。こ



れらは唯一時間がかかるのが欠点ですが1店/1年のペースで一歩一歩着実に成長を続けていきたいと考えています。

この後の質疑応答でも紙面では書ききれないほどの気づきをいただきました。

JQA 受賞企業に直接訪問してお話を伺い体感することには大きな価値があると感じました。

【「ねぎし」詳細はこちらをご覧ください】

<https://www.negishi.co.jp/index.html>

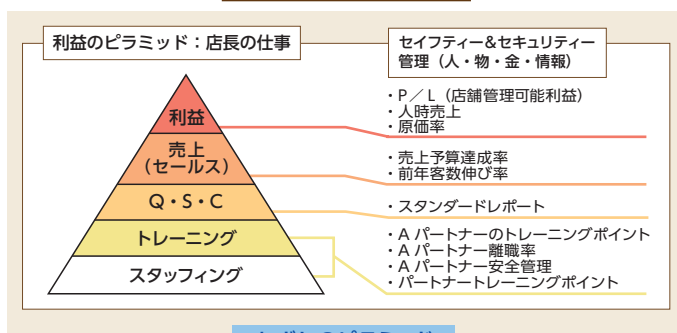
(コアクリエイティブ 田原 浩)



ねぎしの基本的考え方

事実前提

利益を上げるためだけの経営



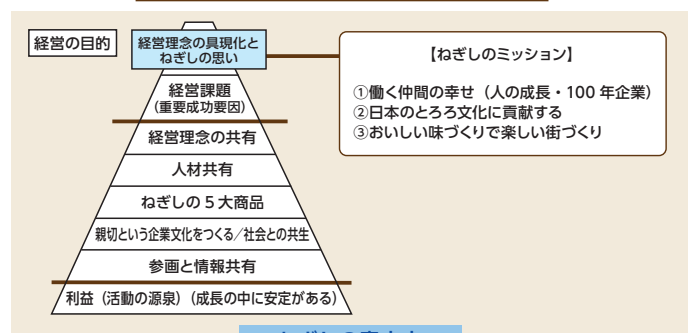
ねぎしのピラミッド

部分最適 効率重視 個人スキル 他人事→作業

狩猟型経営 ナンバーワン

価値前提

「働く仲間の幸せ」100年企業実現のための経営



ねぎしの富士山

全体最適 経営理念 チーム力 我が事→仕事

農耕型経営 オンリーワン

経営人材の養成プログラム「アセスメントコース」開催

A1 基礎編 (10 / 8・10 / 9)

アセスメントコースは、経営品質向上の考え方にに基づき、組織の変革を推進する人材＝セルフアセッサーを育成するプログラムです。セルフアセスメントに必要なポイントを、A1 基礎編・A2 体験編・A3 実践編の各2日間にわたり受講していきます。このアセスメントコース受講により、認定セルフアセッサーの資格を習得することができるというものです。

今年度は、A1 基礎編をリアルで開催しました。会員の3社から8名に参加していただき、組織プロフィールの事例演習を通じて、組織の現状分析の方法を学習しました。

自社以外の参加者との交流もこの研修の魅力となっています。



全国で約3,000名、埼玉県内100名が認定セルフアセッサーとして活躍中です。

(運営委員長 高橋 清)

令和3年度 戦略会議開催

埼玉県経営品質協議会運営委員会では、年明けに次年度の活動方針を検討する「戦略会議」を開催しています。毎月の運営委員会と話し合いの環境を変えた方がアイデアが出るのではないかと考え、順繰りに会員組織に訪問して会議室で半日討議し、終了後に懇親会を行うという形式をとってききましたが、今回はZOOMでの開催となりました。

会議冒頭では、「そもそも埼玉県経営品質協議会は何のためにあるのか?」「真に県内中小企業の経営革新に役立つ、という設立趣旨は実現できているのか?」といった振り返りから始めています。今年度は、「経営品質向上活動でいう『品質』とはどのようなことなのか?」を考えることから始

めています。そして、「この『経営品質向上活動』という商品は、県内中小企業の経営者の『競合品、競合企業と比較して評価する品質』を持つ商品として認知されていないのはなぜなのか?」と進んで行きました。

その後は、令和2年度の事業の実施状況の振り返りと課題抽出、令和3年度の活動方針と事業計画について協議して行きました。

コロナ禍が続きますが、活動仲間を増やす取り組みを進めてこうと決議しました。

(運営委員長 高橋 清)

今後の予定

- 4月27日(火) 埼玉県経営品質協議会 幹事会
- 5月25日(火) 総会/顧客価値経営フォーラム/埼玉県経営品質賞表彰式/受賞組織報告会

※新型コロナウイルスの影響によっては内容が変更になる可能性があります。